

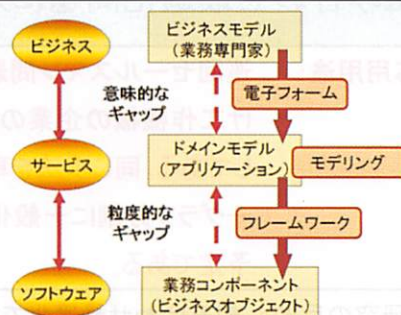
研究の方針 ビジネスモデルとシステムデザインのためのギャップを超える設計技法の研究

コンピュータによるより良い生活“CS-life”の実現のために、「すべての日常的仕事はコンピュータが代行するべきである」という視点から、「エンドユーザが自ら作り、自ら利用するためのツール」としてのアプリケーション開発技法の研究を行っている。

フォームベースの Web サービス連携技法

応用用途: Web サービス連携による Web アプリケーションの短期開発と継続的保守

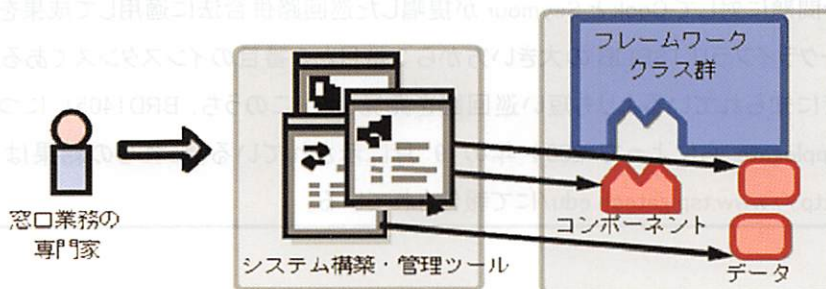
サービスのインタフェースのメタファーをフォームととらえるアプローチにより、フレームワーク主体のUI駆動型開発と、ビジュアルモデリング主体のモデル駆動型開発を統合する。特に、コンポーネント間の連携をメッセージフローで表現していた部分を、フォームフローで置き換えたサービス連携とし、コンポーネントの機能をフォーム変換機能とすることにより、業務の専門家主導のアプリケーション開発を実現する。これまで、複数のXML文書のマージ処理や既存のHTML文書をXML文書に変換するラッピング処理をビジュアルツールを開発してきた。



Web アプリケーション向けアプリケーションフレームワーク

応用用途: Web アプリケーションの短期開発

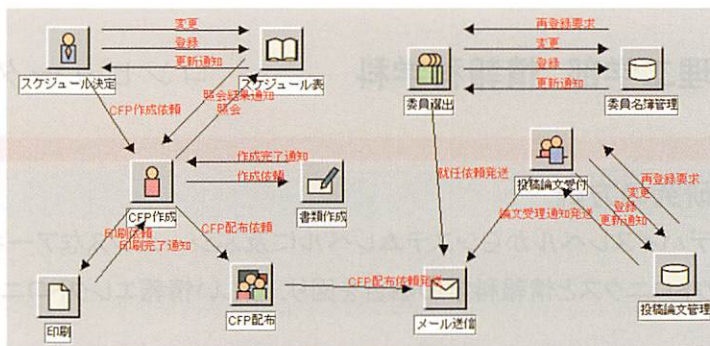
特定分野の共通機能をフレームワークとして作成しておき、アプリケーション開発時に、その固有の部分だけをカスタマイズする技法の研究と開発を行っている。特に、頻繁に機能変更が生じるケースが多いので、業務の専門家(エンドユーザ)が対応できる仕組みを重視している。



コンポーネントベースのアプリケーション開発環境

応用用途: **ビジュアルモデリングによるアプリケーションの短期開発**

ビジュアルコンポーネントをベースにした業務モデルの構築段階でプログラム開発が完了するようなモデリング&シミュレーション技法の研究と支援環境の開発を行っている。



電子文書の公平な公開を保証する暗号化システム

応用用途: **政府認証基盤(GPKI)のプラットフォーム技術, グリーティングカードサービス**

競争入札の公告や開札, 選挙の電子投票の開票, 試験問題や結果の公表など, 電子文書の公平な公開を必要とする場合に,

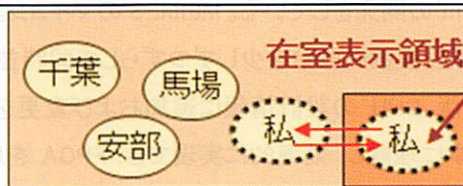


あらかじめ暗号化された電子文書が将来の指定時刻まで復号化されないことを保証するシステムに関して, 特にシステム管理者などの内部の関与者からも閲覧ができないことを保証する方式を考案し, 特許(特許番号 3572576, 3577704)を取得済なので, その実用化研究を行う。想定される用途として, 電子政府, 公的資格試験やグリーティングカードサービス等で指定時刻まで機密性を保証する必要があるものが考えられる。

在席情報に基づく簡単操作型グループ対話システム

応用用途: **インスタントメッセージサービス, 地域コミュニケーションツール**

相手の在席を確認して, リアルタイムで交信するインスタントメッセージは, 個人間に限らず, 企業活動にも活用され始めているが, 従来のユーザインタフェースは, オンラインのユーザの名前のリスト表示



- ・在室表示領域に移動 → 仲間に在室通知
- ・一定時間後, 不在通知
- ・メッセージ領域を表示し, 入力メッセージ通知

示のものが多く, 直感性に欠けることや操作性(使いやすさ)が悪いなどの欠点があった。そこで, この解決のために, 在室表示領域(仮想サロン)を画面に表示して, お互いに即座に話しかけられる方式を考案し, 特許(特許番号 3396829)を取得済なので, ライセンス供与により, 実用化研究を行う。